



バックスクリーンビューからの甲子園球場



球場90周年の装飾が施された甲子園歴史館の正面入り口

日本統治時代の台湾の高校球児の活躍を描いた台湾映画「KANO」が、台湾で2月27日から公開されヒットしている。日本からの台湾旅行、台湾からの日本旅行の観光素材として期待が高まっており、大阪で開催された第9回「大阪アジア映画祭」のオープニング作品として上映されるなど熱心にプロモーションが行われている。同作品には、物語のクライマックスである甲子園球場（兵庫県西宮市）が登場するほか、日本らしさを表現するシーンとして、球児たちが日本旅館に泊まったり、日本式の宴会のシーンがある。台湾人観光客向けに「KANO」ゆかりの地めぐり、旅館宿泊や宴会体験も提案できる。すでに実施が決まっている団体や個人の旅行者にも、「KANO」や甲子園の情報を提供することで喜ばれる。台湾は、インバウンド市場として、重要な地域。今年の台湾へのインバウンド誘致には、台湾映画「KANO」の情報が欠かせない。

「KANO」とは

台湾映画「KANO」は、嘉義農林学校野球部（現・国立嘉義大学）の台湾人と台湾先住民、日本人の混成チームが台湾代表として、1931年の夏の甲子園大会に出場。決勝戦まで勝ち進み準優勝した実話をモデルとしている。台湾出身の日本プロ野球第一号選手であり戦前、戦後の日本プロ野球界

で活躍した呉昌征選手の活躍も描かれている。

台湾での公開が始まっていることから、当面は台湾からのインバウンド誘致に活用できる観光資源である。日本国内では年末に公開予定。台湾でのヒットを受けて公開時期が早まる可能性もある。日本公開後は、高校野球の同窓会やOB会など野球関連の団体の誘致や、教育旅行のコースに組み込むこともできる

素材となっている。

甲子園歴史館にゆかりの品

台湾映画「KANO」の舞台となっているのは兵庫県西宮市にある阪神甲子園球場。同球場を観光で訪れるのに最適な施設が甲子園球場の外野スタンド下にある甲子園歴史館。歴史館にある展望スペース「バックスクリーンビュー」からは、球場全体を眺めることができる。さらに台湾映画「KANO」にも登場し、阪神タイガースに在籍した呉昌征選手のゆかりの品も展示されている。後に台湾からは、阪神タイガースに昨年まで在籍した林威助選手をはじめ、郭李建夫投手や大豊泰昭選手まで多くの台湾出身の選手が入団。甲子園歴史館にも資料が残っていることから、同胞意識が強い台湾人観光客にも関心を持ってもらいたい。さらに米メジャーリーグで、活躍するダルビッシュ有投手のグラブや松坂大輔投手の高校時代のユニフォーム、ベーブ・ルースゆかりの品なども展示されており、外国人観光客が来場しても楽しめる。

バックスクリーンウォーク&まんがと甲子園 水島真司氏の「ドカベン」やあだち充氏の「タッチ」などについて、直筆サインや名場面の大型パネルで紹介している。野球ファンだけでなく、原作やアニメのファンも国内外から多く訪れているのが特徴のコーナー。さらに森田まさのり氏の漫画を原作にテレビドラマや実

写映画化された「ROOKIE'S」は、主な出演者がサインした二子玉川学園高校野球部のユニフォームも展示されている。

スタジアムツアー

スタジアムツアーは、11コース（S1、S9コース、R1、R2コース）を設定。催事によりコースが決められている。事前予約制で、定員になり次第締め切りとなる。基本的なコースは、グラウンド（人工芝部分のみ）、3塁ベンチ、3塁ブルペン、3塁ロッカールームなど。所要時間は約50分。予約は、前々月の1日で、1日が休館日の場合は、翌営業日。旅行会社は、甲子園歴史館に問い合わせ。個人利用の場合は、甲子園歴史館ホームページと電話で予約できる。スタジアムツアーは、歴史館が集合・出発地点。参加料に甲子園歴史館の入館料が含まれる。おとな（高校生以上）一般1500円、団体1200円。こども（4歳以上中学生まで）一般1000円、団体800円。

甲子園が舞台の台湾映画『KANO』公開 インバウンドを甲子園歴史館が受入れ整備

KANOゆかりの展示



嘉義農林学校の資料



呉昌征選手の選手名板



呉昌征選手のレリーフ



嘉義農林学校の出場が分かる



まんがと甲子園 あだち充先生のコーナー



スタジアムツアーの様子

問い合わせ先 甲子園歴史館

〒663-8152
兵庫県西宮市甲子園町1-82
外周16号門横
TEL 0798-49-4509
<http://www.koshien-rekishikan.com/>

開館時間

3月1日～10月31日
10時～18時（入館は17時30分まで）
11月1日～2月末日
10時～17時（入館は16時30分まで）
休館日は、年末年始、毎週月曜日。
月曜日に限り、プロ野球や高校野球の試合開催日と祝日が月曜の場合は開館

入館料

おとな（高校生以上）一般500円 団体400円
こども（4歳以上中学生まで）
一般300円 団体200円
※4月8日から大人料金が600円に改定される。団体料金は、20人以上で事前に予約を済ませる必要がある。